成績概要書（2014 年 1 月作成）

研究課題：ばれいしょ地域在来品種等「紫月」「キタムサシ」の特性
担当部署：北海道農業研究センター　畑作研究領域
担当者名：田宮誠司、津田昌吾、西中未央、浅野賢治、森元幸、小林晃、高田明子、向島信洋、高田憲和
　　百田洋二、串田篤彦、植原健人
協力分担：（独）道総研　中央農試・北見農試、長崎県農林技術開発センター
予算区分：交付金
研究期間：1992､1998～2010 年度（平成 4 年、平成 10～22 年度）

１．目的

ばれいしょ「紫月」「キタムサシ」は、馬鈴しょ地域在来品種等の増殖申請を行い、平成 23 年度「馬鈴しょの地域在来品種等の増殖計画検討会」において審議し、種馬鈴しょの増殖が認められた品種で、平成 25 年 10 月に品種登録された。

生産現場において本品種の適切な栽培および貯蔵管理等が行われるために、各種特性調査の結果を取りまとめ、特性の情報として提供する。

２．方法

「紫月」：紫皮で外観の優れるジャガイモシストセンチュウ抵抗性生食用ばれいしょ品種の育成を目標として、平成 4 年に「長崎紫」を母、「十勝こがね」を父として交配採種し、平成 12 年に播種した実生集団より選抜を行い、以降、各種の特性について調査を実施した。

「キタムサシ」：外観および収量性の優れる疫病圃場抵抗性・白肉調理用品種の育成を目的として、平成 10 年に「長系 101 号」を母、「北海 82 号」を父とする交配を行い、得られた種子を播種した実生集団より選抜を行い、以降、各種の特性について調査を実施した。

３．成果の概要

１）「紫月」の形態的特性：塊茎の形は「男爵薯」と同じ“球”で、目の数は“少”、深さは“浅”である。塊茎の皮色は“紫”、肉色は“淡黄”である。

２）「紫月」の生態的特性：塊茎の休眠期間は「男爵薯」並の“やや長”である。枯凋期は「男爵薯」並の“早”である。上いも数は「男爵薯」並の“中”、上いも重および上いも平均重は「男爵薯」並の“少”、でん粉価は「男爵薯」並の“中”である。二次生長、褐色心腐、中心空洞は「男爵薯」よりも少なく“無”、裂開は「男爵薯」並の“無”である。シストセンチュウ抵抗性遺伝子 H1 を有し、疫病、Y モザイク病、青枯病は「男爵薯」並の“弱”、そうか病、塊茎腐敗に対しては「男爵薯」よりも強い“やや弱”である。打撲黒変耐性は「男爵薯」よりもやや強い“やや弱”である。

３）「紫月」の品質特性：剥皮後の褐変は「男爵薯」より少ない“微”である。水煮の肉質は「男爵薯」よりも粘質の“やや粘”、煮くずれは「男爵薯」より少ない“少”、水煮後黒変は“無”で、食味は「男爵薯」並の“中上”である。主たる用途は“調理”である。

４）「キタムサシ」の形態的特性：塊茎の形は「男爵薯」よりやや細長い“卵形”で、目の数は“少”、深さは“浅”である。塊茎の肉色は「男爵薯」並の“白”である。

５）「キタムサシ」の生態的特性：塊茎の休眠期間は「男爵薯」より短い“中”である。枯ちょう期は「男爵薯」より遅い“中”である。上いも数は“中”、上いもの平均重および上いも重は「男爵薯」より多く、でん粉価は「男爵薯」より低い“低”である。シストセンチュウ抵抗性遺伝子 H1 を有し、疫病および青枯病に対しては「男爵薯」より強く「さやあかね」並の“強”、そうか病に対しては「男爵薯」よりやや強い“やや弱”、塊茎腐敗に対しては「男爵薯」並の“やや弱”、Y モザイク病は「男爵薯」並の“弱”である。二次生長が「男爵薯」並の“微”、褐色心腐は「男爵薯」より多い“中”、中心空洞および裂開は、それぞれ、「男爵薯」並かそれより少ない“無”である。

６）「キタムサシ」の品質特性：打撲黒変耐性は「男爵薯」より強い“やや強”である。剥皮後の褐変は「男爵薯」より少ない“無”である。水煮の肉質は「男爵薯」並の“やや粉”であるが、煮崩れの程度は「男爵薯」より少ない“少”である。水煮後黒変は“微”で、食味は「男爵薯」並の“中上”である。主たる用途は“調理”である。

表　特性一覧

調査場所		北海道農業研究センター				
試験年度		平成17-22年		平成21-22年		
試験の種類		生産力検定		生産力検定		
品種名 / 形質		紫月	男爵薯（標準）	キタムサシ	男爵薯（標準）	さやあかね（比較）
枯ちょう期		早	早	中	早	中
枯ちょう期（月日）		9/2	9/1	9/4	8/25	9/5
終花期の茎長（cm）		57.6	43.7	59	45	80
上いも数(個/株)		10.8	10.7	10.8	9.8	8.7
上いもの平均重（g）		78	79	90	83	103
上いも重（kg/10a）		3,697	3,703	4342	3574	3893
同上標準比（%）		100	100	121	100	109
規格内いも重（kg/10a）1)		2,932	3,039	3547	3006	3478
同上標準比（%）		96	100	118	100	116
でん粉価（%）		15.4	16.0	13.6	15.8	15.8
草性		やや直立	やや直立	直立	やや直立	開張
塊茎の形		球	球	卵形	球	短卵形
目の深さ		浅	深	浅	深	中
目の基部の色		白	白	白	白	赤
皮色		紫	淡ベージュ	淡ベージュ	淡ベージュ	赤
肉色		淡黄	白	白	白	淡黄
休眠期間		やや長	やや長	中	やや長	やや短
二次生長		無	微	微	微	微
褐色心腐		無	微	中	少	少
中心空洞		無	微	無	少	微
打撲黒変耐性		やや弱	弱	やや強	弱	やや弱
剥皮効率				高	中	中
調理特性	肉質	やや粘	やや粉	やや粉	やや粉	やや粉
	煮崩れ	少	中	少	中	中(多)2)
	水煮黒変	無	少	微	少	微
	食味	中上	中上	中上	中上	中上
	ﾁｯﾌﾟ・ﾌﾗｲの褐変程度	多	中	多	中	中
	サラダ加工適性	中	中	中	やや適	―
	コロッケ加工適性	やや不適	適	やや不適	適	適
耐病害虫	シストセンチュウ	強(H1)	弱(h)	強(H1)	弱(h)	強(H1)
	疫病（圃場抵抗性）	弱	弱	強	弱	強
	そうか病	やや弱	弱	やや弱	弱	弱
	塊茎腐敗	やや弱	弱	やや弱	やや弱(弱)	強
	Yモザイク病	弱	弱	弱	弱	やや強
	青枯病	弱	弱	強	弱	強

1）規格内いも重：60-259g。
2）（　）内はばれいしょ種苗特性分類基準に基づく判定。

４．成果の活用面と留意点

１）栽培予定地域での、指導上の資料とする。

５．残された問題とその対応

なし